アダージオV3R

変額個人年金保険Ⅱ型2003
特別加算金付最低保証年金特約1510型

特別勘定の月次運用レポート
2026年10月末現在

〇市場概況
〇特別勘定の運用状況
〇組入投資信託の運用レポート

お客さまが負うことになる投資のリスクについて

●変額個人年金保険は一時払保険料をファンドで運用します。ファンドの主要投資対象である投資信託は、国内外の株式・債券等で運用しており、運用実績が保険金額や積立金額・将来の年金額等の増減につながるため、株価や債券価格の下落、為替の変動により、積立金額、解約払戻金額は払込保険料を下回ることがあり、損失が生じるおそれがあります。

変額個人年金保険に含まれる手数料などについて

●変額個人年金保険は預金等ではなく、預金保険制度ならびに投資者保護基金の対象ではありません。
●解約、一部解約（特別払戻を除く）をした場合や年金受取開始日以降に年金を一括受取する場合等には、一時払保険料相当額の最低保証はありませんので、受取総額が一時払保険料相当額を下回ること（元本割れリスク）があります。
＊この商品にかかる費用は、以下の「運用期間中の費用（「保険関係費用」「運用関係費用」）」と「年金受取期間中の費用（「年金管理費」）」の合計となります。また、特定のお客さまには「解約手数料」がかかります。
●保険関係費用：ご契約の新規成立・維持等や死亡・災害死亡の保障等をするための費用です。運用期間中、積立金額に対して年率2.36%の割合で積立金額から毎日控除されます。
●運用関係費用：ファンドの運用にかかる費用です。主にファンドが投資する投資信託の信託報酬で、信託財産に対して年率0.44%程度（税抜年率0.40%程度）の割合で信託財産から毎日控除されます（費用は小数点第２位まで表示しています）。信託報酬のほか、お客さまにご負担いただく費用には、信託事務の諸費用、有価証券の売買手数料および消費税等の税金等がかかりますが、費用の発生前に金額や割合を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は特別勘定がその保有資産から負担しており、公表されるユニットプライスはこれらの費用を控除した後のものです。したがって、これらの費用はお客様に間接的にご負担いただいております。また、運用関係費用は、運用手法の変更、運用資産額の変動等の理由により将来変更される可能性があります。
●年金管理費：年金支払の管理にかかる費用です。年金の受取期間中、年金額に対して１%の割合で責任準備金から年金受取時に控除されます。
●解約手数料：ご契約日および増額日からその日を含めて７年未満の解約、一部解約（特別払戻を除く）をした場合にかかります。ご契約日からの経過年数に応じて、解約控除対象額※の７%～３%の割合で解約日の積立金額または一部解約請求額から控除されます。
※解約控除対象額は、解約の場合は一時払保険料相当額、一部解約の場合は一部解約請求額と一時払保険料相当額のうちいずれか小さい方の金額となります。なお、過去に一部解約があった場合はその際の解約控除対象額が一時払保険料相当額から差し引かれます。
！詳しくは「契約概要/特に重要なお知らせ（注意喚起情報）/ご契約のしおり・約款/特別勘定のしおり」（商品パンフレット兼用）をご覧ください。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

[引受保険会社] オリックス生命保険株式会社

本商品につきましては、新規のご契約のお取り扱いを行っておりません。
ただし、既に本商品をご契約されているお客様につきましては、ご契約後の各種手続のお取り扱いを行っております。
(管)ORI-106

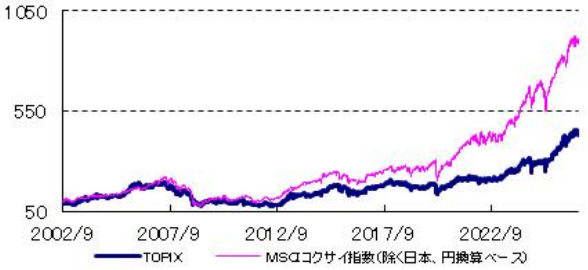
市　　場　　概　　況

	代表的な指標の騰落率	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年
日本株式	日経平均株価	▲ 5.19%	▲ 1.67%	6.76%	20.76%	105.10%
	TOPIX（東証株価指数）	▲ 3.49%	▲ 0.95%	6.38%	19.01%	75.93%
日本債券	NOMURA－BPI総合	1.76%	0.48%	▲ 0.65%	▲ 5.23%	▲ 9.22%
外国株式	MSCIコクサイ指数（除く日本、円換算ベース）	0.78%	0.33%	5.24%	14.87%	89.25%
外国債券	FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）	1.34%	▲ 2.02%	▲ 2.81%	1.80%	22.57%
外国為替	米ドル対円為替レート（仲値）	0.12%	▲ 1.98%	▲ 1.78%	2.23%	5.37%

日経平均株価(円)の推移



日本と外国の株式市場パフォーマンス推移

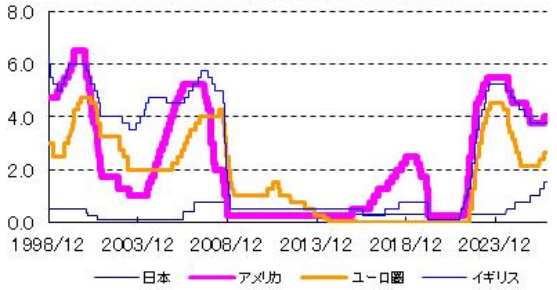


＊上記グラフは、2002年9月末を100として指数化しています。

日本の国債利回り(%)の推移



先進各国の政策金利(%)の推移



日本と外国の債券市場パフォーマンス推移



＊上記グラフは、2002年9月末を100として指数化しています。

外国為替レート(円)の推移



全てのデータの出所はBloomberg、野村総合研究所です。NOMURA-BPIとは、日本国内債券市場で発行されている代表的な公社債の流通動向を的確に表す投資収益指数です。当指数は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社によって計算、公表されている、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社の知的財産です。なお、同社は、当指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。MSCIコクサイ指数とは、MSCI Inc.が所有する株価指数で、世界の主要先進国の株式市場の動きを捉える基準として、広く認知されているものです。FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

※運用状況については、組入投資信託の運用レポートをご覧ください。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

特別勘定と主な投資対象の投資信託

特別勘定と主な投資対象の投資信託

特別勘定	運用資産				主な投資対象の投資信託	運用会社	資産配分(%)		資産合計
	株　式		債　券				投資信託	現預金その他	
	日本	外国	日本	外国					(百万円)
世界アセット01 SS	●	●	●	●	SMAM・世界バランスファンドVA＊	三井住友DSアセットマネジメント株式会社	97.0%	3.0%	1,750

＊適格機関投資家専用に設定される投資信託です。

投資信託の運用方針

主な投資対象の投資信託	運用方針
SMAM・世界バランスファンドVA＊	国内株式、外国株式、国内債券、外国債券を主要投資対象とするマザーファンドに主として投資することにより、日本を含む世界の株式および公社債等に分散投資を行います。株式と債券の基本配分比率はそれぞれ60%、40%とします。外国株式部分については基本的に為替ヘッジを行います。

＊適格機関投資家専用に設定される投資信託です。

特別勘定 ユニットプライスと収益率の推移



期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	0.28%	−0.21%	2.01%	4.13%	28.84%	71.23%

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。
したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

世界アセット01 SS

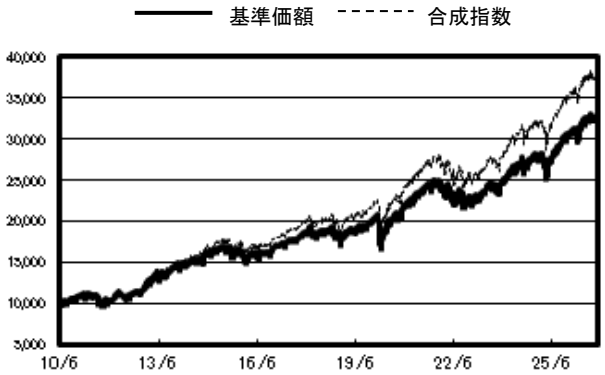
【特別勘定が投資する投資信託】
SMAM・世界バランスファンドVA＜適格機関投資家限定＞

【運用会社】
三井住友DSアセットマネジメント株式会社

主要投資対象
日本を含む世界の株式及び公社債。

運 用 方 針
国内株式、国内債券、外国株式および外国債券を主要投資対象とするマザーファンドに主として投資することにより、日本を含む世界の株式および公社債等に分散投資を行います。株式と債券の基本配分比率はそれぞれ60%、40%とします。外国株式部分については基本的に為替ヘッジを行います。

● 設定来運用実績



■ 基準価額は、信託報酬控除後です。
■ 合成指数は、2010年6月10日を10000として、TOPIX(東証株価指数、配当込み)、NOMURA－BPI(総合)、MSCIコクサイインデックス(配当込み、円ヘッジベース)、FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)の日々の収益率を当ファンドの基本資産配分で加重平均し、三井住友DSアセットマネジメントが独自に指数化しております。
■ 上記グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果を約束するものではありません。

● 騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	設定来
ファンド	0.50%	0.37%	3.27%	6.70%	223.93%
合成指数	0.54%	0.56%	3.57%	7.46%	276.08%

※ 騰落率を算出する基準価額は、信託報酬控除後です。上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。
※ 設定来は、2010年6月10日を基準とします。

●基準価額および純資産総額

	10月30日	前月比
基準価額(円)	32,393	160
純資産総額(百万円)	1,698	8

● マザーファンド組入比率

(2026年10月30日現在)

	ファンド	基本資産配分
①国内株式	9.6%	10.0%
②外国株式	50.1%	50.0%
株式合計(①+②)	59.7%	60.0%
③国内債券	15.0%	15.0%
④外国債券	25.0%	25.0%
債券合計(③+④)	40.0%	40.0%

個別資産の市況の推移としては以下の通りです。
国内株式市場は下落しました。米国での大手半導体企業の好決算や、雇用統計を受けた早期利上げ観測の後退を支えに、上昇して始まりました。しかしその後は、原油価格の高止まりへの警戒感に加え、米新興AIインフラ企業の信用不安をきっかけに巨額のAI関連投資の採算性を巡る懸念が高まったことから、半導体関連株を中心に軟調な展開となりました。月末には、日銀の金融政策決定会合が事前想定通り現状維持となったものの、AI関連投資の採算性を巡る懸念が再燃したことなどから下落しました。
国内の長期金利(10年国債利回り)は低下しました。月初は、海外金利や株価が高水準で推移する中で、国内金利は上昇基調が続きました。しかし、金利水準の高さを背景に国債入札が順調に消化されると、需給環境改善への期待から金利の上昇は一服しました。中旬以降は、米国でAI関連企業への信用懸念の高まりを機に、同業界の資金調達や業績への警戒が高まり、市場のリスクセンチメント(心理)が悪化しました。債券市場にはリスク回避の買いが入り、金利の低下が進みました。また、月末の金融政策決定会合では、事前の観測報道通り日銀は政策金利を据え置き、基調的な物価上昇率が2%の「物価安定の目標」と概ね整合的な水準となったとの判断を示しました。
外国株式については、米国株式市場は小幅に下落しました。地政学リスクやエネルギー価格の上昇などマクロ的な不透明要因が払しょくされず、上値の重い展開となりました。また、企業業績の要因としても、AI関連の巨額な設備投資の採算性に対する懐疑的な見方などからIT関連銘柄が調整し、相場全体の下押し圧力となりました。一方で、リスク回避的な動きを受けて、生活必需品や公益などの銘柄は総じて上昇しました。欧州株式市場は上昇しました。フランスのデモ激化など不安材料はあったものの、ドイツを中心に長期金利が低下に転じたことから、生活必需品やヘルスケアなど業績安定性の高い銘柄への見直し買いが下支え要因となりました。原油価格の上昇により、エネルギー関連銘柄も堅調でした。
外国債券については、米国の長期金利は低下しました。上旬はFRB(米連邦準備制度理事会)高官の追加利上げに慎重な発言が金利低下要因となる一方、原油価格の上昇が金利上昇要因となり、一進一退となりました。中旬以降はAI関連投資の採算性を巡る懸念からリスク回避の動きが強まり金利は低下しました。FOMC(米連邦公開市場委員会)では市場予想通り政策金利の据え置きが決定されました。ユーロ圏の長期金利(ドイツ10年国債利回り)は低下しました。フランスの政治・財政不安に伴うリスク回避の動きなどからドイツ金利は低下しました。ECB(欧州中央銀行)理事会では市場予想通り政策金利の据え置きが決定されました。
外国為替市場では、米ドル/円は前月末と比較して概ね横ばいとなりました。上旬は原油価格の上昇に伴う日本の貿易収支悪化懸念などから円安となりました。中旬以降はAI関連投資の採算性を巡る懸念からリスク回避の動きが強まり米ドル安・円高が進みましたが、その後、FOMCを控えて米ドルが買い戻される展開となりました。ユーロ/円は下落しました。フランスの政治・財政不安がユーロ安要因となったことや、AI関連投資の採算性を巡る懸念からリスク回避の動きが強まったことを背景に、ユーロ安・円高が進みました。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

世界アセット01 SS

【特別勘定が投資する投資信託】
SMAM・世界バランスファンドVA＜適格機関投資家限定＞

【運用会社】
三井住友DSアセットマネジメント株式会社

主要投資対象
日本を含む世界の株式及び公社債。

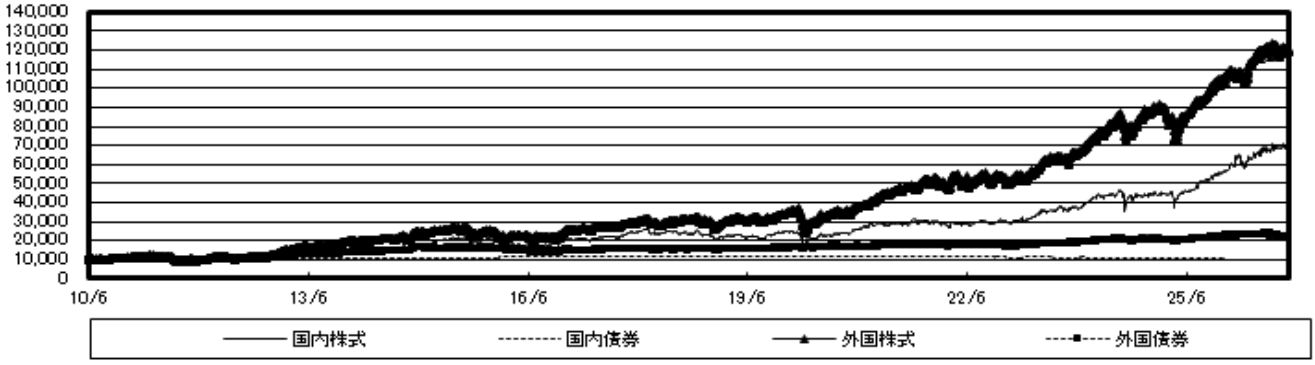
運 用 方 針
国内株式、国内債券、外国株式および外国債券を主要投資対象とするマザーファンドに主として投資することにより、日本を含む世界の株式および公社債等に分散投資を行います。株式と債券の基本配分比率はそれぞれ60%、40%とします。外国株式部分については基本的に為替ヘッジを行います。

● SMAM・世界バランスファンドVA＜適格機関投資家限定＞（以下、当ファンド）は次のマザーファンドを主要投資対象とします。

・国内株式：国内株式インデックス・マザーファンド（B号）
・国内債券：国内債券インデックス・マザーファンド
・外国株式：外国株式インデックス・マザーファンド
・外国債券：外国債券パッシブ・マザーファンド

※外国株式インデックス・マザーファンドの組入比率に応じて、当ファンドにおいて為替ヘッジを行います。

● マザーファンドの基準価額の推移



■ 各マザーファンドの基準価額は、2010年6月10日を10,000とした指数として表示しております。
■ 上記グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果を約束するものではありません。

● マザーファンドの騰落率　※下記は実際の投資家利回りとは異なります。「当ファンド設定来」は、2010年6月10日との比較です。

		1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	当ファンド設定来
国内株式	ファンド	−3.50%	−0.05%	7.51%	21.74%	573.63%
	ベンチマーク*1	−3.48%	−0.04%	7.54%	21.71%	571.04%
国内債券	ファンド	1.74%	0.47%	−0.65%	−5.17%	−0.10%
	ベンチマーク*2	1.76%	0.48%	−0.65%	−5.23%	−0.44%
外国株式	ファンド	0.87%	0.61%	6.00%	16.49%	1101.24%
	ベンチマーク*3	0.90%	0.65%	6.09%	16.72%	1147.68%
外国債券	ファンド	1.41%	−3.02%	−2.99%	1.69%	124.89%
	ベンチマーク*4	1.41%	−3.05%	−3.02%	1.69%	126.32%

*1：TOPIX（東証株価指数、配当込み）
*2：NOMURA－BPI(総合)
*3：MSCIコクサイインデックス(配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発・ 公表する指数を三井住友DSアセットマネジメントが独自に円換算したものです。
*4：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）FTSE Fixed Income LLCの開発･公表する指数を三井住友DSアセットマネジメントが独自に円換算したものです。

● ご参考－外国株式円ヘッジ指数の騰落率　※下記は、外国株式組入部分に対する為替ヘッジの影響を正確に説明するものではありません。

		1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年
外国株式	円ヘッジ指数*5	0.53%	2.42%	7.11%	11.15%	64.63%

*5：MSCIコクサイインデックス(配当込み、円ヘッジベース) MSCI Inc.が開発・ 公表する指数を三井住友DSアセットマネジメントが独自に円換算したものです。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

世界アセット01 SS

【特別勘定が投資する投資信託】

SMAM・世界バランスファンドVA＜適格機関投資家限定＞

【運用会社】

三井住友DSアセットマネジメント株式会社

主要投資対象

日本を含む世界の株式及び公社債。

運 用 方 針

国内株式、国内債券、外国株式および外国債券を主要投資対象とするマザーファンドに主として投資することにより、日本を含む世界の株式および公社債等に分散投資を行います。株式と債券の基本配分比率はそれぞれ60%、40%とします。外国株式部分については基本的に為替ヘッジを行います。

マザーファンドの状況（2026年10月30日現在）

【国内株式】

マザーファンド名：国内株式インデックス・マザーファンド（B号）

● 組入上位5業種

	業種名	比率
1	電気機器	19.7%
2	銀行業	11.8%
3	卸売業	7.6%
4	情報・通信業	6.3%
5	機械	5.2%

※マザーファンド純資産総額対比

● 組入上位5銘柄

	銘柄名	比率
1	三菱UFJフィナンシャル・グループ	3.7%
2	トヨタ自動車	2.6%
3	リクルートホールディングス	2.6%
4	三井住友フィナンシャルグループ	2.4%
5	ソニーグループ	2.3%

※マザーファンド純資産総額対比　（組入全銘柄数 1,620）

【国内債券】

マザーファンド名：国内債券インデックス・マザーファンド

● 債券種別構成

国債	87.1%
政府機関債	10.9%
地方債	0.0%
金融債	0.0%
事業債	0.0%
円建外債	0.0%
その他	1.6%

※マザーファンド純資産総額対比

● 残存年限別構成

1年未満	0.0%
1-3年	25.7%
3-7年	26.9%
7-10年	17.0%
10年以上	30.0%

※マザーファンド純資産総額対比

●修正デュレーション

ファンド	7.52年
ベンチマーク	7.56年

● 組入上位5銘柄

	銘柄名	比率
1	83 政保道路機構	10.9%
2	160 5年国債	4.8%
3	168 5年国債	2.1%
4	185 5年国債	2.0%
5	350 10年国債	2.0%

※マザーファンド純資産総額対比　（組入全銘柄数 152）

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

世界アセット01 SS

【特別勘定が投資する投資信託】
SMAM・世界バランスファンドVA＜適格機関投資家限定＞

【運用会社】
三井住友DSアセットマネジメント株式会社

主要投資対象
日本を含む世界の株式及び公社債。

運 用 方 針
国内株式、国内債券、外国株式および外国債券を主要投資対象とするマザーファンドに主として投資することにより、日本を含む世界の株式および公社債等に分散投資を行います。株式と債券の基本配分比率はそれぞれ60%、40%とします。外国株式部分については基本的に為替ヘッジを行います。

マザーファンドの状況（2026年10月30日現在）

【外国株式】
マザーファンド名：外国株式インデックス・マザーファンド

● 国別投資比率

国名	比率
アメリカ	73.5%
カナダ	3.6%
イギリス	3.5%
スイス	2.7%
ドイツ	2.2%
その他	12.5%

※マザーファンド純資産総額対比

● 組入上位5銘柄

	銘柄名	国名	業種	比率
1	APPLE INC	アメリカ	テクノロジー・ハードウェア・機器	5.9%
2	NVIDIA CORP	アメリカ	半導体・半導体製造装置	5.6%
3	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	4.3%
4	AMAZON.COM INC	アメリカ	一般消費財・サービス流通・小売り	2.7%
5	ALPHABET INC-CL A	アメリカ	メディア・娯楽	1.9%

※マザーファンド純資産総額対比　（組入全銘柄数 1,082）

【外国債券】
マザーファンド名：外国債券パッシブ・マザーファンド

● 国別投資比率

国名	比率
アメリカ	44.6%
中国	13.3%
フランス	6.5%
イタリア	5.9%
イギリス	5.8%
その他	23.4%

※マザーファンド純資産総額対比

● 通貨別構成

アメリカドル	44.6%
ユーロ	26.8%
中国元(オフショア)	13.3%
イギリスポンド	5.8%
カナダドル	2.1%
その他	6.9%

※マザーファンド純資産総額対比

● 残存年限別構成

1年未満	0.6%
1-3年	29.1%
3-7年	33.7%
7-10年	14.1%
10年以上	22.1%

※マザーファンド純資産総額対比

●修正デュレーション

ファンド	5.97年
ベンチマーク	6.08年

● 組入上位5銘柄

	銘柄名	国名	償還日	比率
1	US TREASURY N/B 3.625 09/30/30	アメリカ	2030/9/30	1.2%
2	CHINA GOVERNMENT BOND 1.32 02/25/29	中国	2029/2/25	0.7%
3	KOREA TREASURY BOND 2.75 09/10/45	韓国	2045/9/10	0.7%
4	CHINA GOVERNMENT BOND 1.49 12/25/31	中国	2031/12/25	0.6%
5	CHINA GOVERNMENT BOND 3.72 04/12/51	中国	2051/4/12	0.5%

※マザーファンド純資産総額対比　（組入全銘柄数 959）

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。